

科 目 名	SS 研究Ⅱ	理数科必修 2年次・1単位
目 標	「課題研究」の内容を検証し、実験やデータ分析を行うことで内容を深める。研究の途中経過をまとめて発表し、議論することで研究の目的を明確にするとともに、研究者からの助言をもとに手法等の改善を行い研究の深化を図る。研究成果を英訳し、科学的な英語コミュニケーションの基礎を身につける。	
位 置 づ け	2年次「課題探究」と連動して、実験やデータ分析、課題研究中間報告会を実施する。また、3年次の英語発表に向けて、ポスターや論文、スライド等の英訳を行い、科学的な英語コミュニケーションの基礎を学習する。	

■使用する教材 ・リサーチノート ・自作プリント ほか		■学習する単元とおおよその時期 ・課題研究基礎実験【4～11月】 ・課題研究中間報告会【7月・11月】 ・課題研究英訳【1～3月】 ・外部講師による英語コミュニケーション講座【2・3月】
■授業の流れ、予習・復習を含めた学習方法 「課題探究」の授業と連動して研究チームごとに計画を立てて実施する。大学・研究機関の研究者やSS研究Ⅰ・Ⅲ受講者に対して、研究発表を行い議論することで研究の深化を図る。研究を進めるためには、情報や資料を積極的に収集し、大学や専門機関とも連携することが必要になる。		

■観点別評価について

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価基準	A 正しい現状把握から課題見だし、解決のための仮説を立て、根拠を示して適切に検証し、結果を多面的・客観的に分析・解釈して結論を導くことができる。	結論から得られたことを活用し、新たな課題を見いだすことができる。また研究成果を文章や図表を用いるなど適切な工夫をして説明し、論理的に議論することができる。	研究計画を立て、内外の様々な人と連携しながら適切に運営し、自らが果たすべき役割を見出し貢献することができる。異文化や多様性を理解しようと相互理解に努め、マナー・モラルを守り目標達成に向けて粘り強く挑戦することができる。
	B 課題見だし、解決のための仮説を立て、適切に検証し、結果を分析・解釈して結論を導くことができる。	結論から得られたことを活用することができる。また研究成果を説明し、議論することができる。	研究計画を立て適切に運営し、貢献することができる。異文化や多様性を理解しようとし、マナー・モラルを守り目標達成に向けて挑戦することができる。
	C 上記が達成できていない	上記が達成できていない	上記が達成できていない
評価の場面	活動状況・研究内容・発表・論文やポスター等の成果物	研究内容・発表・論文やポスター等の成果物	活動状況・研究内容・発表・論文やポスター等の成果物・外部発表等の実績

- 自己評価について**
- 授業評価と連動させた Google フォームで、実施します。
- ・生徒自身が3観点について、振り返る
 - ・生徒自身の取り組み方について